**「進級シミュレーター」を使った学級編成の手引き**

**準備**

番号にチェックしながら確実に行いましょう。

1. 運用の段階によって異なる。運用手順シート１段目参照。

**担任の入力**

②操作パネルを開き**紫・ピンク・緑**の並べ替えを活用して個人情報を入力・修正。同一学級NGの児童はフルネームを「NG児童名」へコピペ。複数いる場合はスペースやコンマ等で分ける。

◆転出児童はA～Q列選択、右クリック、削除、上方向へシフト。

◆転入児童は仮編成シートと学校在籍名簿の「タブレットNo（未定であれば固有の英数字）を双方に入力しておくと「転入追加」ボタンで6項目を自動コピペしてくれる。

　◆NG児童は人数無制限だが完全一致でない名前は別人扱いになる。

③「新」は入力しない。終了したら次の担任に回す。

**年度末学年会で最初にやること**

④**ピンクの「学年男女別教科順」で並べ替え。**5クラスなら男は「新」の頭にABCDE、女はEDCBAなどと入力し、それぞれ最後までコピーすると男女数を勘案して学力もそろった暫定編成になる。

　◆全員のABCが決まる前に並べ替えを実行すると異常な表示になるが全員決まると正常になる。心配無用。

⑤**緑の「新５０音順」または「新男女別」で仮の新組にする。**

**NG確認とNGラインの意味**

⑥「NG確認」でNGを可視化する。**NG指定した子とされた子が同じ学級内にいる事がNG**なのでNG指定された子を赤にし、NG指定した子を青にする。青のはずが赤である場合は別の子からNG指定されている。赤や青の子が交換の対象になる。

⑦左右の赤の子を「挿入」「図形「/」で結ぶと**NGの数が線の本数で分かる。この線をNGラインと呼ぶ**。既に異学級の場合はNGラインを引かない。赤や青の子はA列のABCを交換すると学級を替えられる。

**交換マクロを使ってNG(ライン)を解消する方法**

**1⃣Ctrlを押しながら1名のABCをクリック、（右端スクロールバー）、もう１名クリック、そのまま「z」**

**2⃣間違えたらそのまま「z」で戻る。押すたび入れ替わる。**

**3⃣交換は仮編成で行う。手作業でなく安全な交換マクロを推奨。**

**4⃣NGラインが学級をまたぐように交換するとNGが解消する。線をクリック、delete。**

⑧１対多（1人が複数をNG指定）または多対１（複数が１人をNG指定）でNGラインになっている**重い件を最初に処理**する。１の子を他学級の子と交換。または多の子を１人ずつ他学級の子と交換。これでNGラインが学級をまたぐのでNG解消。**同様の件が異学級にあり、関係に重複がなければ１の子同士を交換できて手数が大幅に減る。解消したらそのラインを消す。**

⑨2人が互いにNG指定している場合は左右の４人とも赤になり２本のNGラインがクロスする。異学級に同様のクロスしたNGラインがあれば**双方の１人を交換すればNG４本同時に解消。**できなければ片方を他学級と交換。

⑩残った1対1のNGラインのうち、**異学級にあるNGラインをペアにし、双方の１人を交換すればNG２本同時に解消**。同様に次々交換してNGラインを消す。

⑪最後にNGラインが１本残ったら、赤か青のどちらかを他学級に移動または交換。

⑫このように**全てのNGを一気に解消**する。少ない手数でNG解消すると、学級間格差解消の交換もゆとりがあって楽。

⑬**青い「新５０音順」か「新男女別」**を押すと修正済みの新学級になり、「シミュレーター」シートにコピーされ、その下に学級毎の集計表も再計算されるので偏りの有無が分かる。「NG判定」で赤い子がいなくなれば解消。

**◆たとえばA学級の中でも、①最初の並べ替えでAになった子、②交換されてBへいく子、③今Cにいるが交換されてAに来る子など内外に入り乱れているので、②や③を間違って二重三重に交換して隠れていたNGが出現する恐れがあるので「確かにAの子か」などを見て行う。交換の都度緑の並べ替えを実行する手もあるが、並びが変わりNGラインもずれるので引き直しになる。どこにいったか不明な子を探す補助として🔎を用意してある。**

**◆最初からやり直ししたい場合は「新」のABCを全てdelete、「NGクリア」「線削除」で④からやり直す。**

**◆「線削除」はエラーが出ることがあるが、データは壊れない。「終了」で復帰できる。**

**学級間格差解消**

⑭**白い７種類とピンクの並べ替えを行うと、集計表と照らし合わせれば学級間格差解消の糸口が分かるので再び交換マクロを使う。赤や青の児童を避けて交換すればNGは復活しない**。赤や青は「NGクリア」しても並べ替えてもNG児童がいる限り児童と一緒についてくるのでいつでも「NG確認」にできる。

　　◎ピアノ：ピアノのうまい子が上に固まり、新組(ABC)順に並ぶので交換のめどが立つ。

　　◎運動：同上

　　◎リーダー：同上

　　◎アレルギー：アレルギーごと新組順に並ぶ。

　　◎言動：記述のある子が上に固まる。先頭に〇良いこと×悪いこと等の印をつけるとより分かりやすい。

　　◎父母子外国要準：父子家庭・母子家庭・外国籍・要保護・準要保護児童が種類ごと新組順に固まる。

　　◎地区：地域ごと新組順に固まる。地域の偏りや児童の近所での友人関係を考慮できる。

　　◎**学年男女別教科順**：最初これでABCを振り分けた。交換でできた格差を無印の子などを使って修正。

⑮NGが復活していないか確認するため**青い「新５０音順」か「新男女別」をして「NG判定」。**

⑯学級人数・男女数など最終調整。**青い並べ替え（どちらか）**にし、「NGクリア」で色を消す。

⑰「校長提出用名簿印刷レイアウト」、印刷して学校長に提出。

**新年度**

⑱学級担任、教室、組を決めたらシミュレーター右の小さい表(図)に**ABC(固定)・新組・担任氏名の３点セットを入力**。ここまでしてあれば「新年度点検名簿印刷レイアウト」で仮点検名簿がその場で印刷できる。

⑲「年度更新用データ作成」ボタンで新旧の年組番号の一覧が作成される。全校名簿の更新作業が可能になる。

**自動付替**

⑳学校在籍名簿と本ファイル２つを開いた状態で「自動付替」ボタンを押すと、タブレット番号で紐づけて旧名簿に新年度の年組番号が10秒ほどで自動上書きされる。全学年これを行えば名簿の年度更新が行える。※動画参照

**次年度編成ファイル作成**

㉑「年度更新データ」ができたら吹き出しを読んだうえで「次年度編成ファイル作成」で本年度のデータを保存した上で次年度の学級編成ファイルを自動作成する。